

2019年度後期 学群教育改善計画

学群(学部)名	基盤教育群
学群(学部)長名	川村 保

1ー(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。 ※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。		
①	課題	履修者数が適正な数を超えている授業が散見された。
	理由	時間割の編成等、授業内容以外の要因に左右されていることが考えられる。一方、学群により必修科目と特定の科目を指定していることも要因と考えられる。
②	課題	授業により、事前事後学習時間にバラツキがあった。
	理由	以前と比べ、事前事後学習時間の改善が見られた科目がある一方、依然として改善されない科目もあったことから、バラツキが顕著になった。
③	課題	【継続】学習環境の整備が、まだ十分に整備されていない。
	理由	・体育館の整備状況は未だに問題があり、学生の事故に繋がる恐れがある。 ・アクティブラーニングの実施に支障がある教室がある。
1ー(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。		
①	・履修者数の多かった科目に関しては、来年度からのカリキュラム改訂を機に、時間割編成を考慮し履修状況に変化がみられるか検討する。	
	・学群ごとで、特定の基盤教育群科目の内、特定科目を必修科目として指定しているか確認し、他の科目で代替できるか等も視野に入れ、履修者の数を平準化するよう努力する。	
②	・教員間で情報共有ができる環境を作り、ノウハウを共有できるようにする。	
	・FD等を通じて、事前事後学習を学生へ促す取り組みを考える機会を提供する。	
③	・来年度からのカリキュラム改訂へ向けて、学力別のクラス編成の可能性も検討し、それによって事前事後学習の出し方も検討するようにする。	
	・現在、策定作業に取り掛かっている第3期中期計画の中で、体育館の施設等の整備や各教室の備品の整備に実現を図る。	
③	・引き続き、時間割編成の中で科目の特性に応じて適切な教室への配置を図るように調整していく。	
	・大和キャンパスに関しては、デザイン棟の建築により本部棟で教室用に使用できる空間が拡充したため、本格的な調整をしていく。	

2ー(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。	
小テスト、レポートなどの提出物に対して、学生へのフィードバックをすることにより、個々の学生に対して適切な指導が行えている。また、学生にとっても教員からの直接個別指導は、授業をより真剣に取り組むきっかけになっている。時間と体力が必要ではあるため、大規模な授業には不向きであることを付記する。	
2ー(2). 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。	
履修者数や科目によって異なるが、効果のある取り組みについては、教員会議やFD、或いは今後カリキュラム改訂もあることから、教員会議のような体制を立ち上げ、情報共有することで教育改善につなげていく。	